

平成 26 年度 高知県男女共同参画社会に関する県民意識調査 集計結果(速報)

1 調査の概要

- (1) 調査対象：高知県全域の満 20 歳以上の県民 2,000 人
- (2) 対象者の抽出方法：層化二段無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送法
- (4) 調査委託先：(株) トミーコーポレーション
- (5) 調査期間：平成 27 年 1 月 13 日～1 月 27 日
- (6) 有効回収数： 1,015 人 (回収率 50.8%) (※過去回収率 H21 : 57.1%、H16 : 40.0%)

2 調査対象者の属性

F 1 性別

(回答者数 1,015 人)

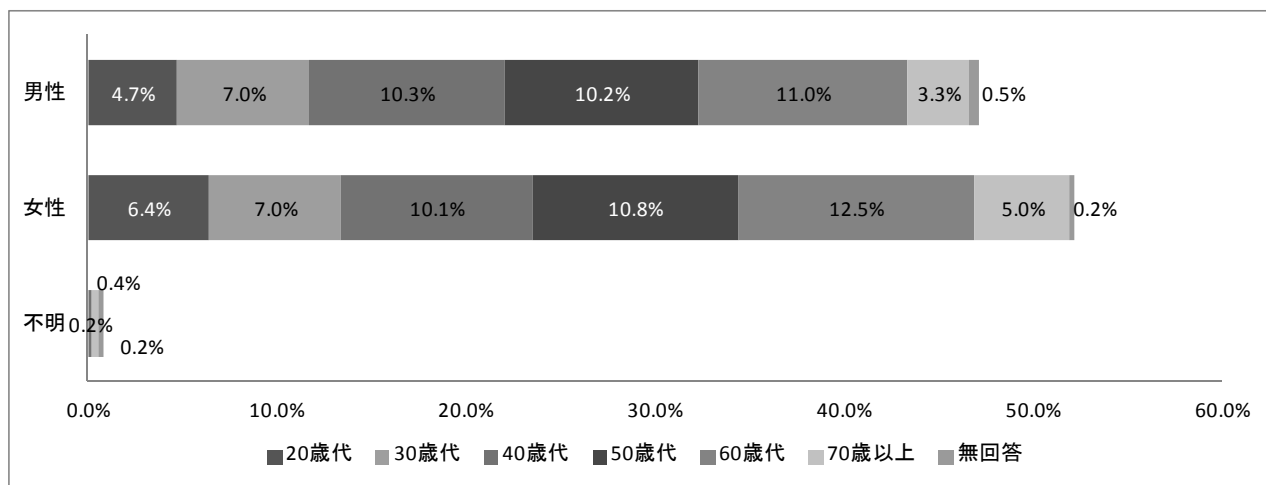
	選択肢	回答数	回答比率
1	男	478	47.1%
2	女	529	52.1%
3	無回答	8	0.8%

F 2 年代別 (平成 27 年 1 月 1 日現在)

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	20 歳代	113	11.1%
2	30 歳代	142	14.0%
3	40 歳代	210	20.7%
4	50 歳代	214	21.1%
5	60 歳代	239	23.5%
6	70 歳以上	88	8.7%
7	無回答	9	0.9%

図 1 「男女別・年代別回答者内訳」

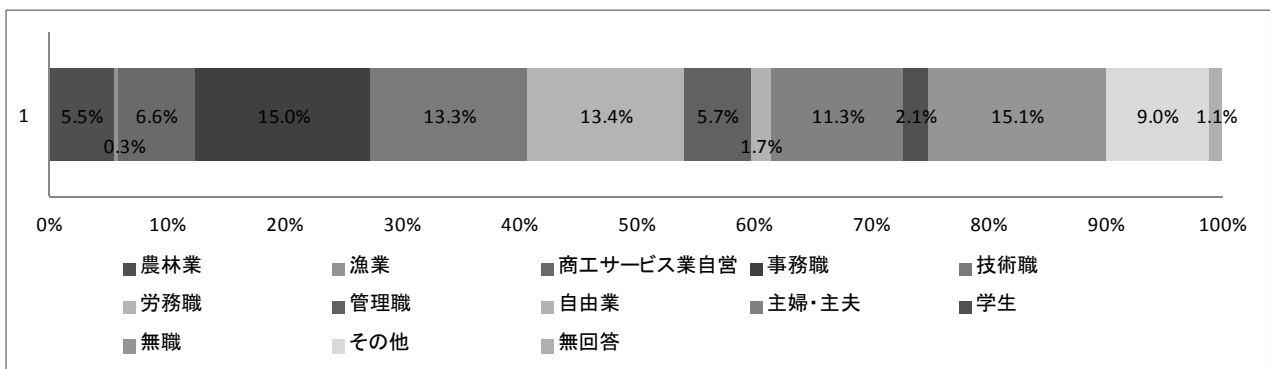


F 3 職業別

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	農林業	56	5.5%
2	漁業	3	0.3%
3	商工サービス業自営	67	6.6%
4	事務職	152	15.0%
5	技術職	135	13.3%
6	労務職	136	13.4%
7	管理職	58	5.7%
8	自由業	17	1.7%
9	主婦・主夫	115	11.3%
10	学生	21	2.1%
11	無職	153	15.1%
12	その他	91	9.0%
13	無回答	11	1.1%

図2 「職業別回答者内訳」



F 4 配偶者有無

(回答者数 1,015 人)

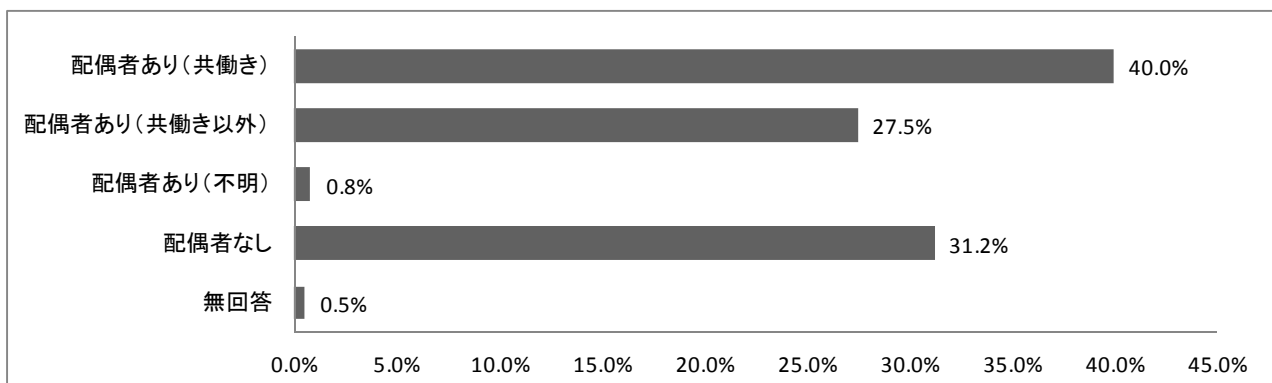
	選択肢	回答数	回答比率
1	いる	693	68.3%
2	いない	317	31.2%
3	無回答	5	0.5%

F 5 夫婦共働き有無

(回答者数 693 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	はい	406	58.6%
2	いいえ	279	40.3%
3	無回答	8	1.2%

図3 「配偶者有無・共働き有無別回答者内訳」

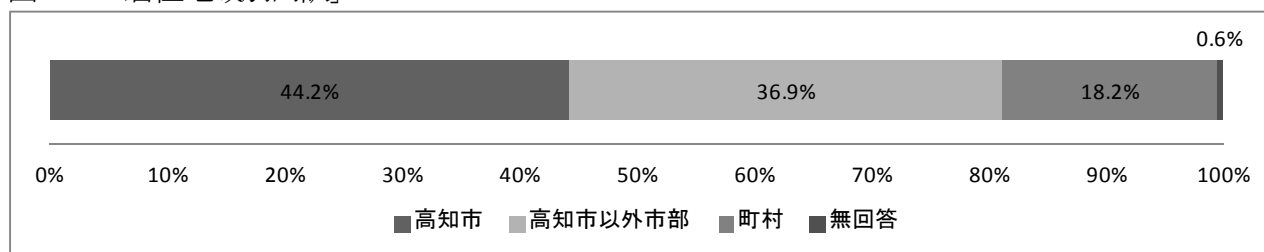


F 6 居住市町村

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	高知市	449	44.2%
2	室戸市	26	2.6%
3	安芸市	27	2.7%
4	南国市	62	6.1%
5	土佐市	34	3.3%
6	須崎市	33	3.3%
7	宿毛市	31	3.1%
8	土佐清水市	24	2.4%
9	四万十市	47	4.6%
10	香南市	47	4.6%
11	香美市	44	4.3%
12	東洋町	3	0.3%
13	奈半利町	5	0.5%
14	田野町	5	0.5%
15	安田町	2	0.2%
16	北川村	1	0.1%
17	馬路村	2	0.2%
18	芸西村	7	0.7%
19	本山町	6	0.6%
20	大豊町	3	0.3%
21	土佐町	2	0.2%
22	大川村	1	0.1%
23	いの町	30	3.0%
24	仁淀川町	8	0.8%
25	中土佐町	11	1.1%
26	佐川町	14	1.4%
27	越知町	9	0.9%
28	梶原町	7	0.7%
29	日高村	4	0.4%
30	津野町	11	1.1%
31	四万十町	25	2.5%
32	大月町	12	1.2%
33	三原村	1	0.1%
34	黒潮町	16	1.6%
35	無回答	6	0.6%

図4 「居住地域別内訳」

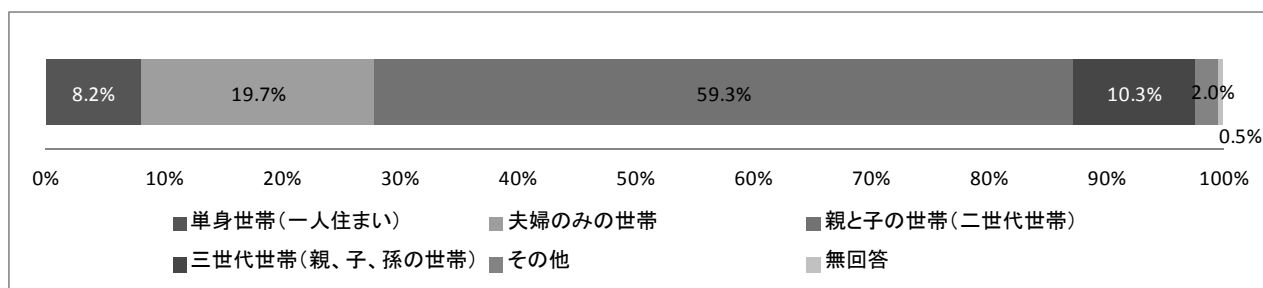


F 7 世帯構成

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	単身世帯 (一人住まい)	83	8.2%
2	夫婦のみの世帯	200	19.7%
3	親と子の世帯 (二世帯世帯)	602	59.3%
4	三世帯世帯 (親、子、孫の世帯)	105	10.3%
5	その他	20	2.0%
6	無回答	5	0.5%

図5 「世帯構成別回答者内訳」

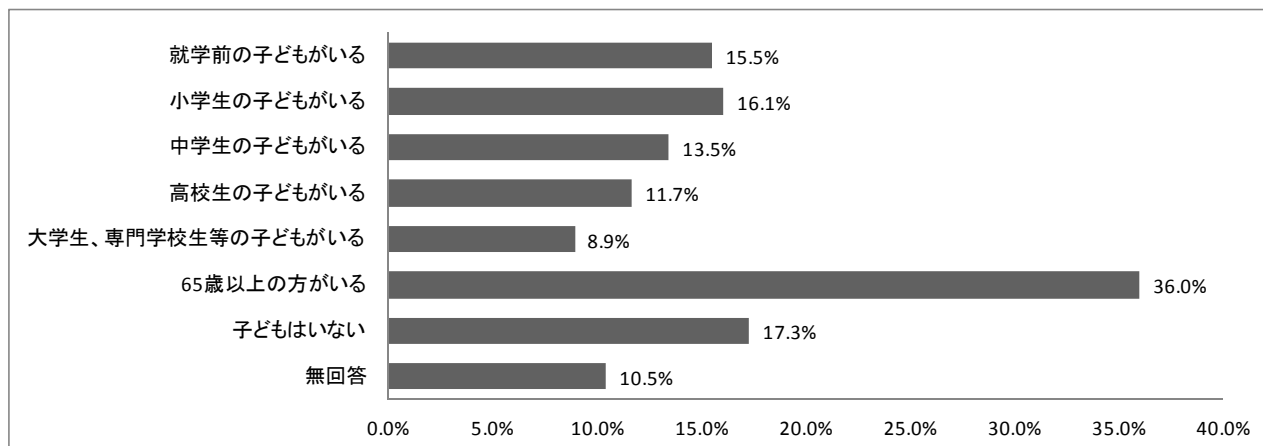


F 8 同居家族内容

(回答者数 727 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	113	15.5%
2	小学生の子どもがいる	117	16.1%
3	中学生の子どもがいる	98	13.5%
4	高校生の子がいる	85	11.7%
5	大学生、専門学校生等の子どもがいる	65	8.9%
6	65歳以上の方がいる	262	36.0%
7	子どもはいない	126	17.3%
8	無回答	76	10.5%

図6 「同居家族内容」



◆ 1. 男女平等に関する意識について

問1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(回答者数：(ア)～(ク)まですべて1,015人)

(ア) 家庭生活

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	90	8.9%	9.5%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	432	42.6%	43.5%
3	平等	349	34.4%	32.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	61	6.0%	5.6%
5	女性の方が非常に優遇されている	13	1.3%	0.5%
6	わからない	58	5.7%	6.0%
7	無回答	12	1.2%	2.1%

(イ) 職場生活

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	89	8.8%	8.9%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	377	37.1%	37.4%
3	平等	332	32.7%	29.0%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	68	6.7%	5.7%
5	女性の方が非常に優遇されている	12	1.2%	1.1%
6	わからない	99	9.8%	11.8%
7	無回答	38	3.7%	6.0%

(ウ) 学校教育

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	12	1.2%	0.4%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	65	6.4%	6.6%
3	平等	721	71.0%	65.8%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	2.0%	3.0%
5	女性の方が非常に優遇されている	3	0.3%	0.4%
6	わからない	155	15.3%	17.7%
7	無回答	39	3.8%	6.1%

(エ) 政治の場

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	271	26.7%	18.2%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	454	44.7%	41.3%
3	平等	140	13.8%	21.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	0.8%	1.3%
5	女性の方が非常に優遇されている	2	0.2%	0.2%
6	わからない	109	10.7%	12.3%
7	無回答	31	3.1%	4.9%

(オ) 地域活動の場

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	48	4.7%	4.2%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	273	26.9%	28.1%
3	平等	438	43.2%	41.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	73	7.2%	8.0%
5	女性の方が非常に優遇されている	8	0.8%	0.4%
6	わからない	140	13.8%	13.8%
7	無回答	35	3.4%	3.8%

(カ) 法律や制度の上

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	79	7.8%	6.6%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	294	29.0%	26.1%
3	平等	383	37.7%	34.7%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	68	6.7%	8.7%
5	女性の方が非常に優遇されている	8	0.8%	1.2%
6	わからない	154	15.2%	18.1%
7	無回答	29	2.9%	4.6%

(キ) 社会通念・習慣・しきたり

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	164	16.2%	18.2%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	554	54.6%	52.5%
3	平等	140	13.8%	13.0%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	23	2.3%	2.7%
5	女性の方が非常に優遇されている	4	0.4%	0.2%
6	わからない	103	10.1%	9.5%
7	無回答	27	2.7%	3.9%

(ク)社会全体

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	男性の方が非常に優遇されている	97	9.6%	8.1%
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	572	56.4%	56.8%
3	平等	163	16.1%	17.2%
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	41	4.0%	4.1%
5	女性の方が非常に優遇されている	19	1.9%	0.3%
6	わからない	96	9.5%	9.8%
7	無回答	27	2.7%	3.8%

図1-1 「分野別の男女平等に関する意識」(平成26年度調査)

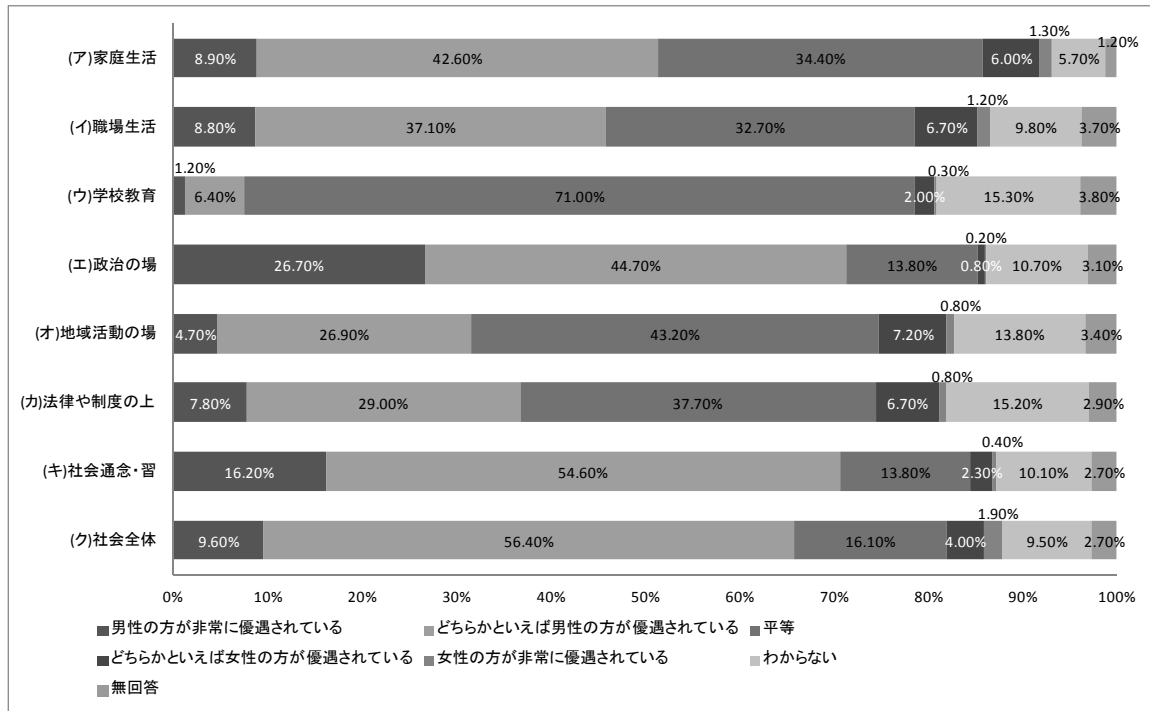
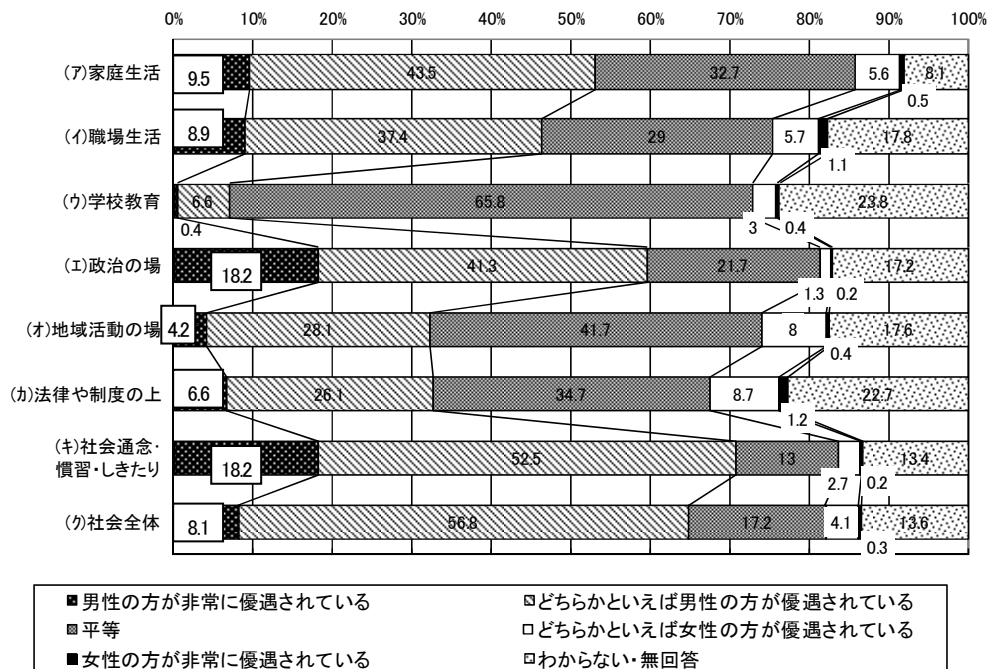


図1-2 「分野別の男女平等に関する意識」(平成21年度調査)



◆ 2. 家庭生活について

問2 男女の役割分担の理想と現実について、1つだけ選択。

(1) あなたの理想に最も近いものはどれですか【全員回答】

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する	207	20.4%	15.3%
2	妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する	6	0.6%	0.1%
3	夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する	113	11.1%	9.5%
4	夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する	6	0.6%	0.3%
5	夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	452	44.5%	44.3%
6	夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	200	19.7%	27.4%
7	その他	12	1.2%	1.3%
8	無回答	19	1.9%	1.8%

(2) 実際にあなたの家庭では夫婦の役割分担をどのようにしていますか（していましたか）
【結婚している（またはしたことがある）方のみ】

(回答者数 747 人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する	174	23.3%	21.4%
2	妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する	7	0.9%	0.7%
3	夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する	304	40.7%	35.0%
4	夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する	5	0.7%	1.1%
5	夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	140	18.7%	18.1%
6	夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	83	11.1%	17.2%
7	その他	34	4.6%	3.6%
8	無回答	0	0.0%	2.8%

図 2-1 「夫婦の役割分担についての理想と現実比較」(平成 26 年度調査)

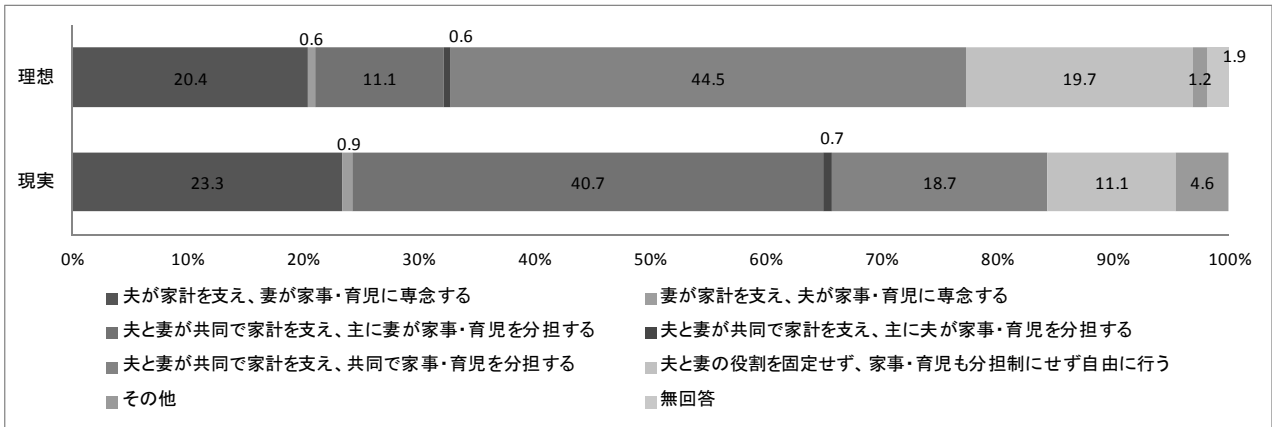
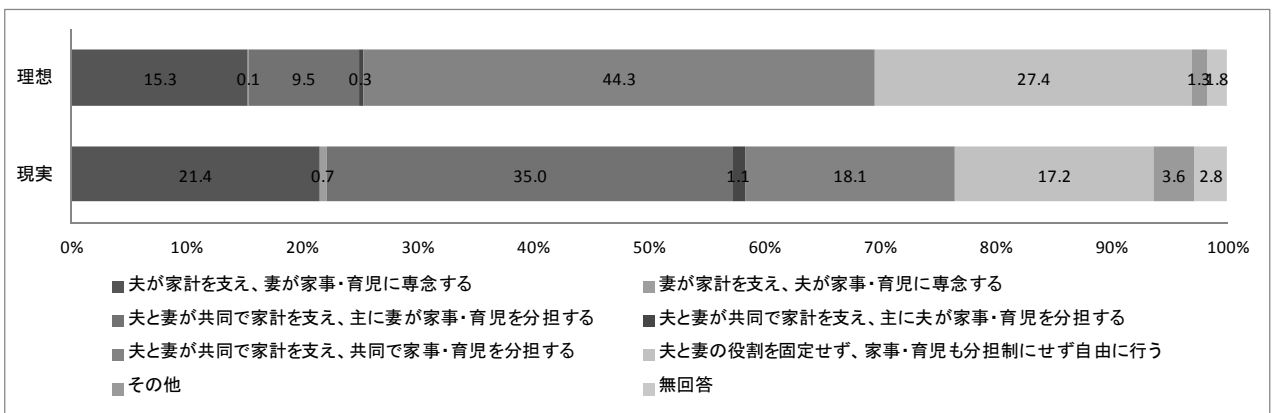


図 2-2 「夫婦の役割分担についての理想と現実比較」(平成 21 年度調査)



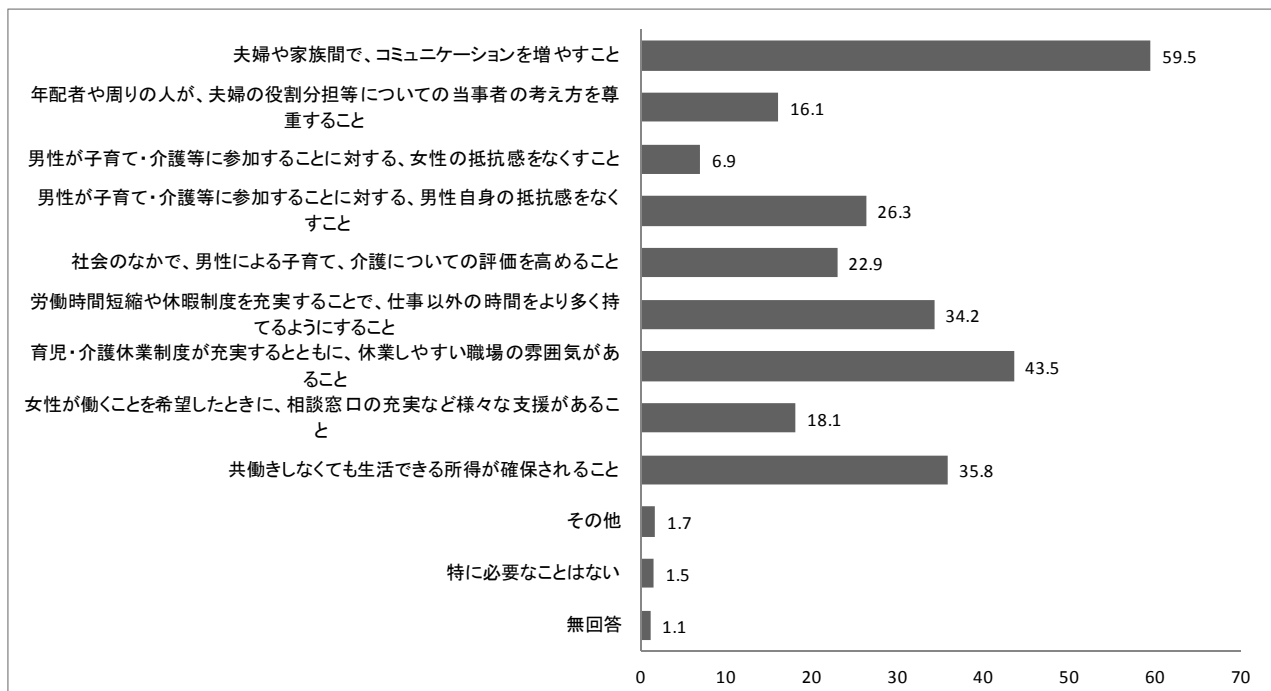
新

問3 あなたが考える理想的な男女の役割分担が実現するためには、どんなことが必要だと思いますか。3つまで選択。

(回答者数 1,015人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	夫婦や家族間で、コミュニケーションを増やすこと	604	59.5%
2	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	163	16.1%
3	男性が子育て・介護等に参加することに対する、女性の抵抗感をなくすこと	70	6.9%
4	男性が子育て・介護等に参加することに対する、男性自身の抵抗感をなくすこと	267	26.3%
5	社会のなかで、男性による子育て、介護についての評価を高めること	232	22.9%
6	労働時間短縮や休暇制度を充実することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	347	34.2%
7	育児・介護休業制度が充実するとともに、休業しやすい職場の雰囲気があること	442	43.5%
8	女性が働くことを希望したときに、相談窓口の充実など様々な支援があること	184	18.1%
9	共働きしなくても生活できる所得が確保されること	363	35.8%
10	その他	17	1.7%
11	特に必要なことはない	15	1.5%
12	無回答	11	1.1%

図3-1 夫婦の役割分担の理想を実現するために必要だと考えること



◆ 3. 女性が働きやすい環境づくりについて

問4 女性の働き方について、1つだけ選択。

(1) 女性の働き方について、あなたの理想に最も近いものはどれですか。【全員回答】

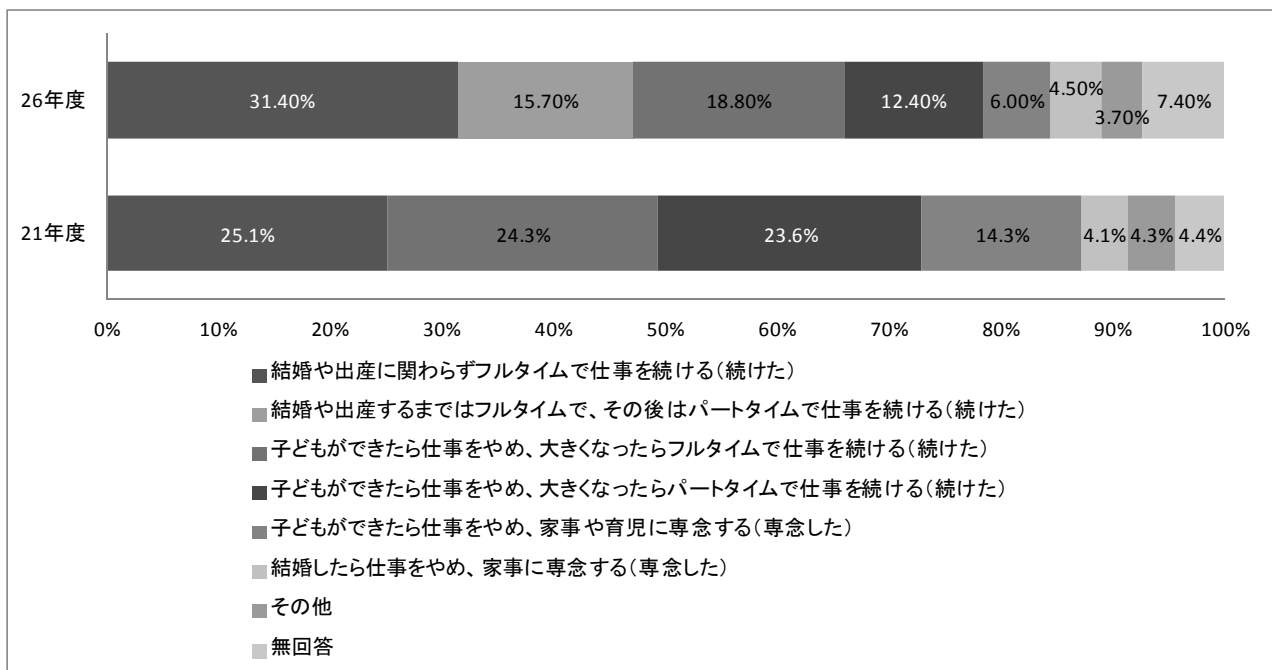
(回答者数 1,015人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	結婚や出産に関わらずフルタイムで仕事を続ける (続けた)	319	31.4%	25.1%
2	結婚や出産するまではフルタイムで、その後はパートタイムで仕事を続ける (続けた)	159	15.7%	—
3	子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったらフルタイムで仕事を続ける (続けた)	191	18.8%	24.3%
4	子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったらパートタイムで仕事を続ける (続けた)	126	12.4%	23.6%
5	子どもができたなら仕事をやめ、家事や育児に専念する (専念した)	61	6.0%	14.3%
6	結婚したら仕事をやめ、家事に専念する (専念した)	46	4.5%	4.1%
7	その他	38	3.7%	4.3%
8	無回答	75	7.4%	4.4%

※21年度調査時の選択肢は、「①結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」「②子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」「③子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」「④学校卒業後は仕事をせず、結婚後または子育て終了後から仕事をする」「⑤出産するまでは仕事を持つが、子どもができたなら家事や育児に専念する」「⑥結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する」「⑦仕事をしない」「⑧その他」のため、26年度調査選択肢と以下のとおり対比させた。

「1=①」「2該当なし」「3=②」「4=③」「5=⑤」「6=⑥」「7=④+⑦+⑧」

図4-1 女性の理想の働き方・年度別比較



新

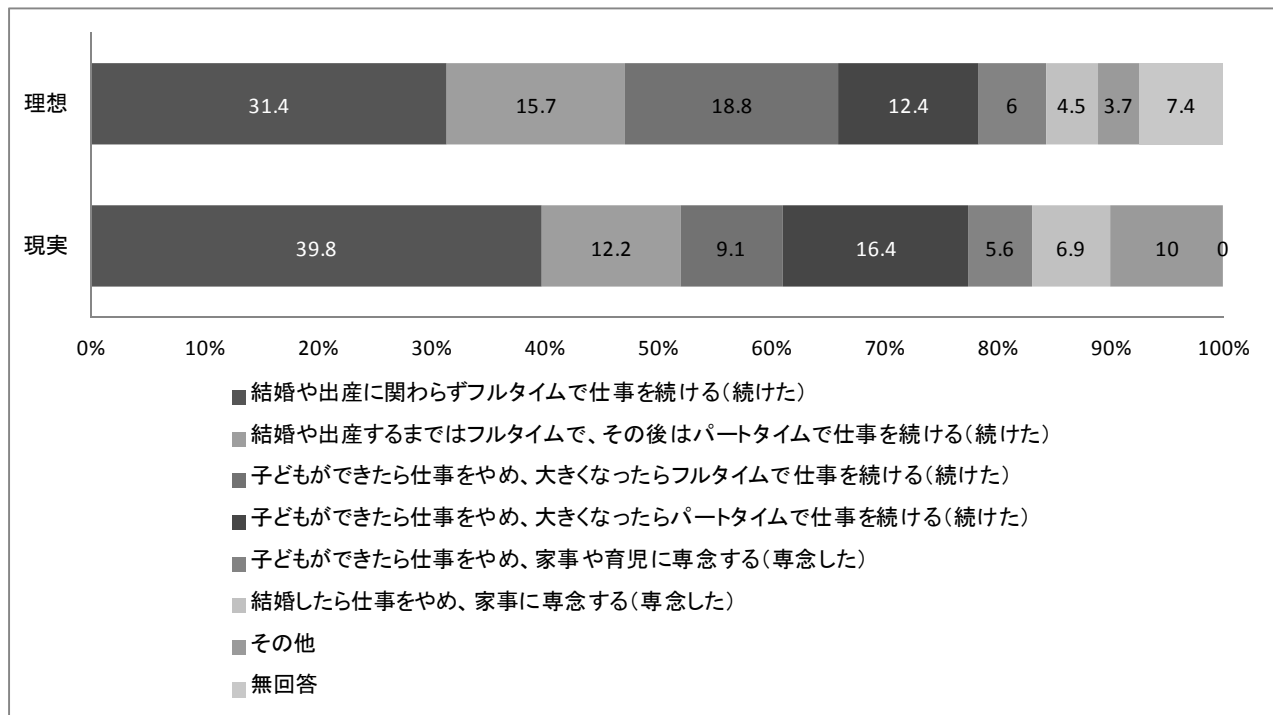
(2) 実際のあなたの働き方で、あてはまるものはどれですか。

【働いている（または働いたことのある）女性の方のみ】

(回答者数 450人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	結婚や出産に関わらずフルタイムで仕事を続ける(続けた)	179	39.8%
2	結婚や出産するまではフルタイムで、その後はパートタイムで仕事を続ける(続けた)	55	12.2%
3	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったらフルタイムで仕事を続ける(続けた)	41	9.1%
4	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったらパートタイムで仕事を続ける(続けた)	74	16.4%
5	子どもができたら仕事をやめ、家事や育児に専念する(専念した)	25	5.6%
6	結婚したら仕事をやめ、家事に専念する(専念した)	31	6.9%
7	その他	45	10.0%
8	無回答	0	0.0%

図4-2 女性の理想の働き方・現実の働き方比較(平成26年度調査)



新

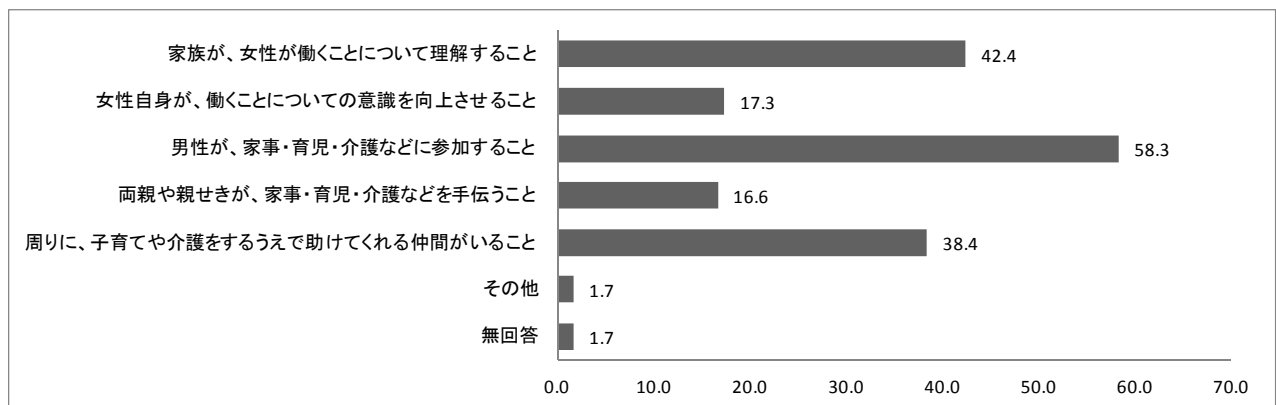
問5 あなたが考える理想的な女性の働き方が実現するために必要なこと。

(1) 家族や地域において必要なこと。(2つまで選択)

(回答者数 1,015人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	家族が、女性が働くことについて理解すること	430	42.4%
2	女性自身が、働くことについての意識を向上させること	176	17.3%
3	男性が、家事・育児・介護などに参加すること	592	58.3%
4	両親や親せきが、家事・育児・介護などを手伝うこと	168	16.6%
5	周りに、子育てや介護をするうえで助けてくれる仲間がいること	390	38.4%
6	その他	17	1.7%
7	無回答	17	1.7%

図5-1 家族や地域において必要なこと

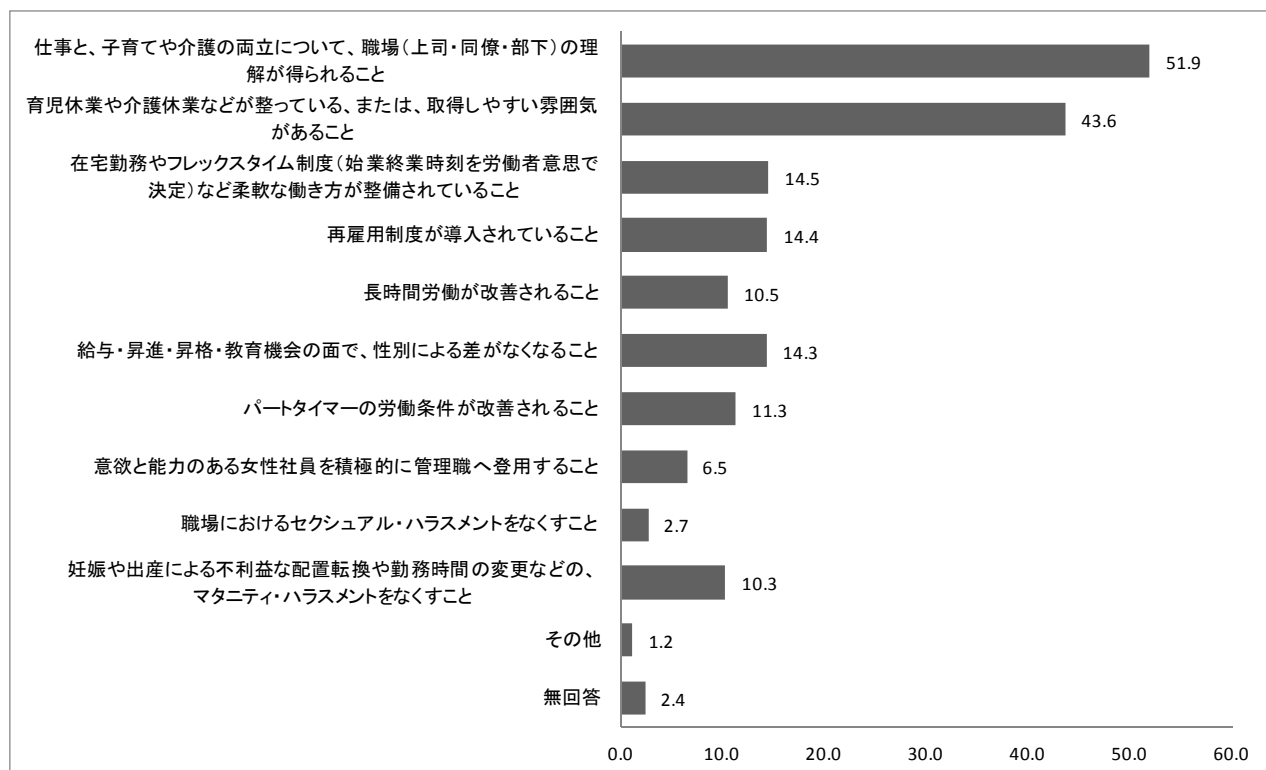


(2) 企業など職場において必要なこと。(2つまで選択)

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	仕事と、子育てや介護の両立について、職場（上司・同僚・部下）の理解が得られること	527	51.9%
2	育児休業や介護休業などが整っている、または、取得しやすい雰囲気があること	443	43.6%
3	在宅勤務やフレックスタイム制度（始業終業時刻を労働者意思で決定）など柔軟な働き方が整備されていること	147	14.5%
4	再雇用制度が導入されていること	146	14.4%
5	長時間労働が改善されること	107	10.5%
6	給与・昇進・昇格・教育機会の面で、性別による差がなくなること	145	14.3%
7	パートタイマーの労働条件が改善されること	115	11.3%
8	意欲と能力のある女性社員を積極的に管理職へ登用すること	66	6.5%
9	職場におけるセクシュアル・ハラスメント（注1）をなくすこと	27	2.7%
10	妊娠や出産による不利益な配置転換や勤務時間の変更などの、マタニティ・ハラスメント（注2）をなくすこと	105	10.3%
11	その他	12	1.2%
12	無回答	24	2.4%

図5-2 職場において必要なこと

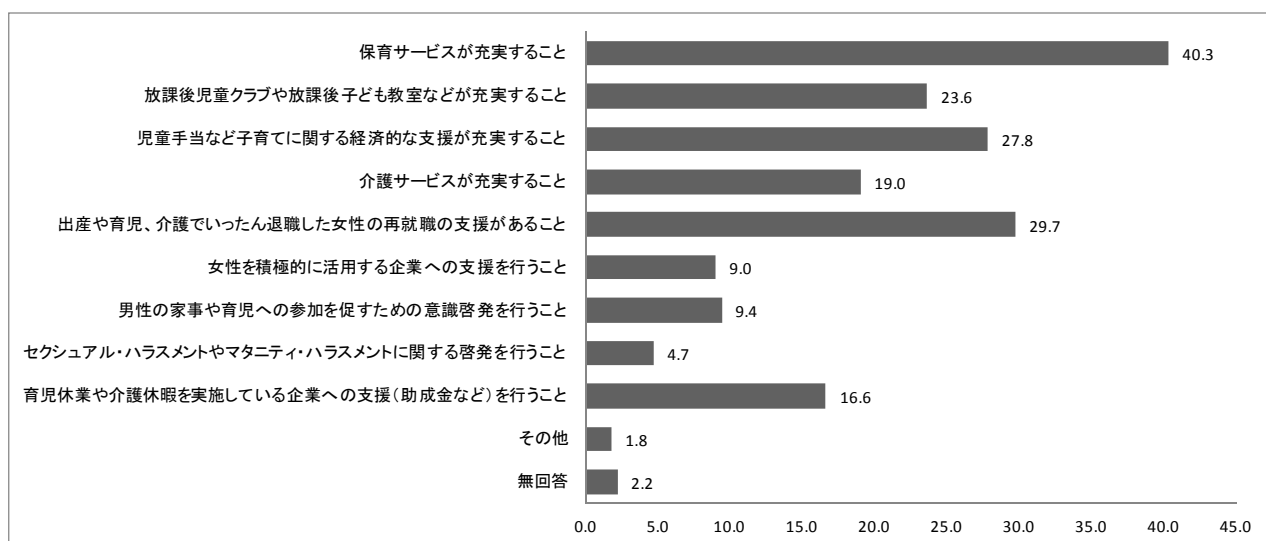


(3) 行政の取組において必要なこと。(2つまで選択)

(回答者数 1,015人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	保育サービスが充実すること	409	40.3%
2	放課後児童クラブや放課後子ども教室などが充実すること	240	23.6%
3	児童手当など子育てに関する経済的な支援が充実すること	282	27.8%
4	介護サービスが充実すること	193	19.0%
5	出産や育児、介護でいったん退職した女性の再就職の支援があること	301	29.7%
6	女性を積極的に活用する企業への支援を行うこと	91	9.0%
7	男性の家事や育児への参加を促すための意識啓発を行うこと	95	9.4%
8	セクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメントに関する啓発を行うこと	48	4.7%
9	育児休業や介護休暇を実施している企業への支援(助成金など)を行うこと	168	16.6%
10	その他	18	1.8%
11	無回答	22	2.2%

図5-3 行政の取組において必要なこと



◆ 4. ドメスティック・バイレンス(夫婦・恋人間の暴力)(注1) / セクシュアル・ハラスメントについて

問6 あなたは、配偶者や恋人があなたに対して、次のようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。最も近い内容を1つだけ選択。

(回答者数：(ア)～(シ)まですべて1,015人)

(ア) 素手で殴ったり、足でける

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	864	85.1%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	113	11.1%
3	暴力に当たると思わない	5	0.5%
4	無回答	33	3.3%

(イ) バットやベルト等、物を使って殴る

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	958	94.4%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	11	1.1%
3	暴力に当たると思わない	7	0.7%
4	無回答	39	3.8%

(ウ) 物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	885	87.2%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	83	8.2%
3	暴力に当たると思わない	6	0.6%
4	無回答	41	4.0%

(エ) ドアをけったり、壁に物を投げつける刃物などを突きつけたり、殴るふりをして、おどす

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	891	87.8%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	78	7.7%
3	暴力に当たると思わない	6	0.6%
4	無回答	40	3.9%

(オ) 大声でどなる、罵倒する

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	600	59.1%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	352	34.7%
3	暴力に当たると思わない	28	2.8%
4	無回答	35	3.4%

(カ) 小バカにするようなことを言ったり、態度を取る

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	448	44.1%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	442	43.5%
3	暴力に当たると思わない	81	8.0%
4	無回答	44	4.3%

(キ) 何を言っても、長時間無視し続ける

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	520	51.2%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	349	34.4%
3	暴力に当たると思わない	103	10.1%
4	無回答	43	4.2%

(ク) 交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	564	55.6
2	暴力の場合とそうでない場合がある	308	30.3
3	暴力に当たると思わない	97	9.6
4	無回答	46	4.5

(ケ) 嫌がっているのに、性的な行為を強制する

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	821	80.9%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	133	13.1%
3	暴力に当たると思わない	18	1.8%
4	無回答	43	4.2%

(コ) 見たくないのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	723	71.2%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	187	18.4%
3	暴力に当たると思わない	63	6.2%
4	無回答	42	4.1%

(サ) 「誰のおかげで生活できるのか」などと言う

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	680	67.0%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	226	22.3%
3	暴力に当たると思わない	64	6.3%
4	無回答	45	4.4%

(シ) 生活費を渡さない、極端に制限して渡す

	選択肢	回答数	回答比率
1	どんな場合も暴力に当たると思う	739	72.8%
2	暴力の場合とそうでない場合がある	185	18.2%
3	暴力に当たると思わない	50	4.9%
4	無回答	41	4.0%

図6-1 配偶者等からの行為に対する暴力認識 (26年度調査)

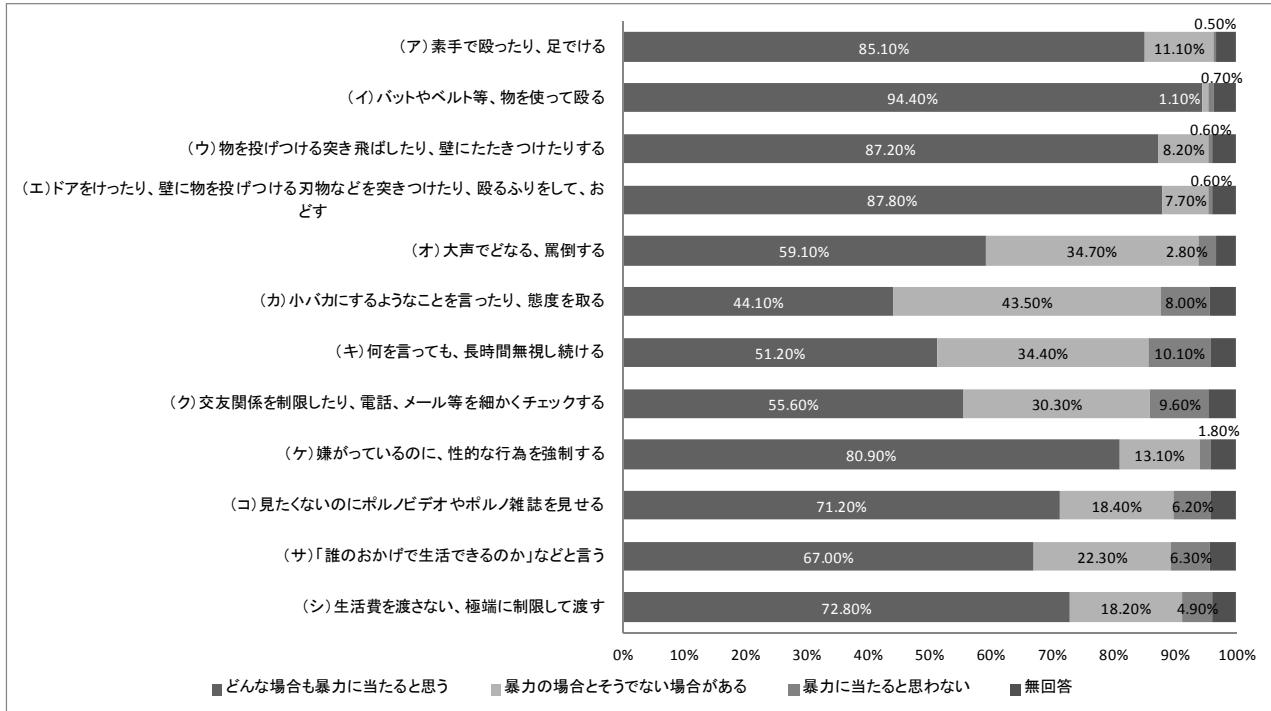
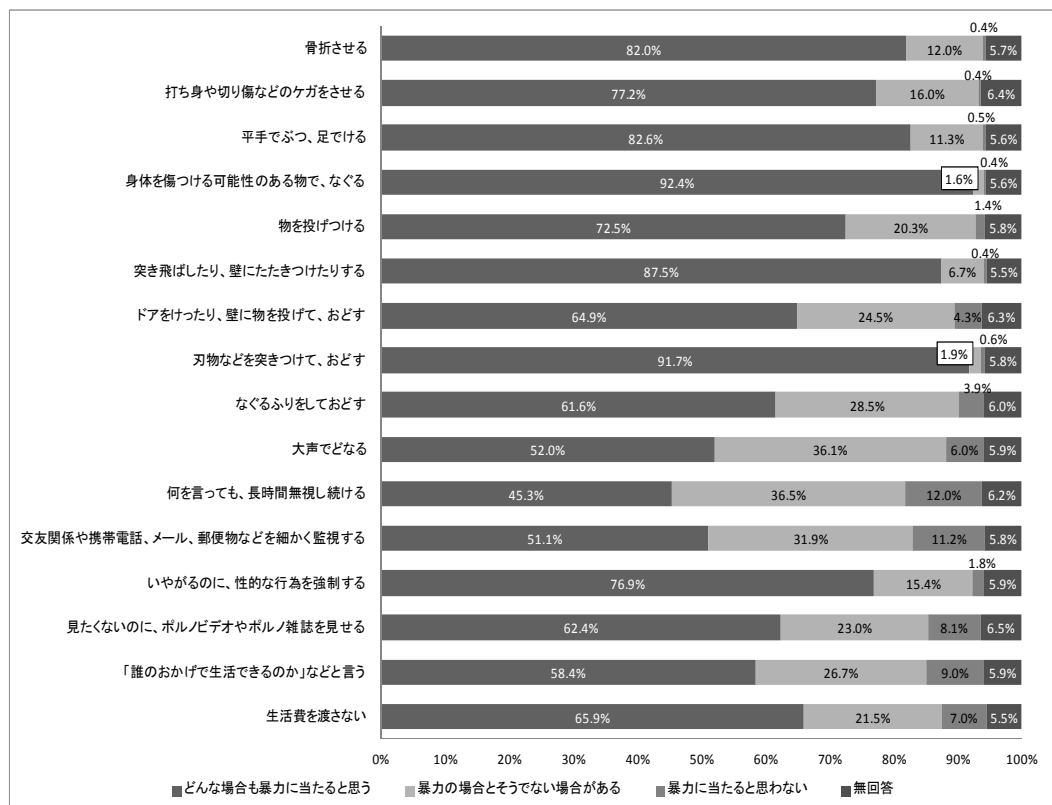


図6-2 配偶者等からの行為に対する暴力認識 (21年度調査)

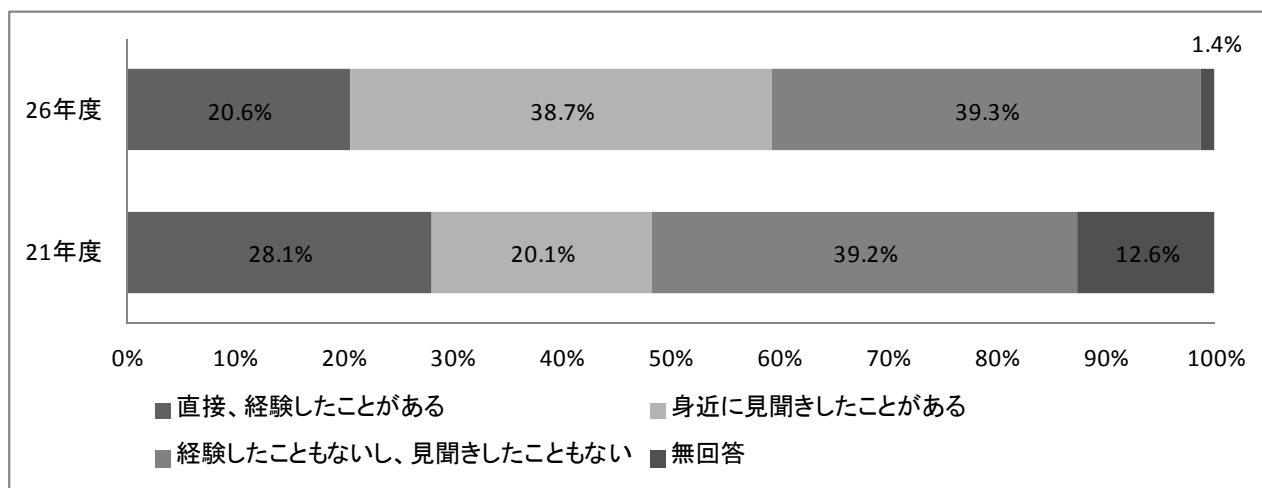


問7 上記のようなことをあなたは経験したり、見聞きしたことがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,015 人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	直接、経験したことがある	209	20.6%	28.1%
2	身近に見聞きしたことがある	393	38.7%	20.1%
3	経験したこともないし、見聞きしたこともない	399	39.3%	39.2%
4	無回答	14	1.4%	12.6%

図7-1 DV経験有無 年度別比較



★問7で「1. 直接、経験したことがある」を選んだ方のみ回答

問8 あなたは、あなたの配偶者や恋人に次のようなことをしたこと、またはされたことはありますか。

(回答者数：(ア)～(ス)まですべて209人)

(ア) 素手で殴ったり、足でける

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	8	3.8%
2	1, 2度した	46	22.0%
3	何度もされた	28	13.4%
4	1, 2度された	55	26.3%
5	どちらでもない・無回答	90	43.1%

(イ) バットやベルト等、物を使って殴る

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	5	2.4%
2	1, 2度した	7	3.3%
3	何度もされた	6	2.9%
4	1, 2度された	10	4.8%
5	どちらでもない・無回答	183	87.6%

(ウ) 物を投げつける。突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	7	3.3%
2	1, 2度した	22	10.5%
3	何度もされた	23	11.0%
4	1, 2度された	48	23.0%
5	どちらでもない・無回答	121	57.9%

(エ) ドアをけったり、壁に物を投げつける刃物などを突きつけたり、殴るふりをして、おどす

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	8	3.8%
2	1, 2度した	22	10.5%
3	何度もされた	27	12.9%
4	1, 2度された	37	17.7%
5	どちらでもない・無回答	123	58.9%

(オ) 大声でどなる、罵倒する

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	21	10.0%
2	1, 2度した	47	22.5%
3	何度もされた	72	34.4%
4	1, 2度された	36	17.2%
5	どちらでもない・無回答	61	29.2%

(カ) 小バカにするようなことを言ったり、態度を取る

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	22	10.5%
2	1, 2度した	38	18.2%
3	何度もされた	61	29.2%
4	1, 2度された	41	19.6%
5	どちらでもない・無回答	72	34.4%

(キ) 何を言っても、長時間無視し続ける

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	9	4.3%
2	1, 2度した	37	17.7%
3	何度もされた	28	13.4%
4	1, 2度された	34	16.3%
5	どちらでもない・無回答	112	53.6%

(ク) 交友関係を制限したり、電話、メール等を細かくチェックする

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	3	1.4%
2	1, 2度した	7	3.3%
3	何度もされた	24	11.5%
4	1, 2度された	21	10.0%
5	どちらでもない・無回答	156	74.6%

(ケ) 嫌がっているのに、性的な行為を強制する

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	2	1.0%
2	1, 2度した	10	4.8%
3	何度もされた	28	13.4%
4	1, 2度された	12	5.7%
5	どちらでもない・無回答	157	75.1%

(コ) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	0	0.0%
2	1, 2度した	5	2.4%
3	何度もされた	3	1.4%
4	1, 2度された	8	3.8%
5	どちらでもない・無回答	193	92.3%

(サ) 「誰のおかげで生活できるのか」 などと言う

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	4	1.9%
2	1, 2度した	17	8.1%
3	何度もされた	18	8.6%
4	1, 2度された	22	10.5%
5	どちらでもない・無回答	151	72.2%

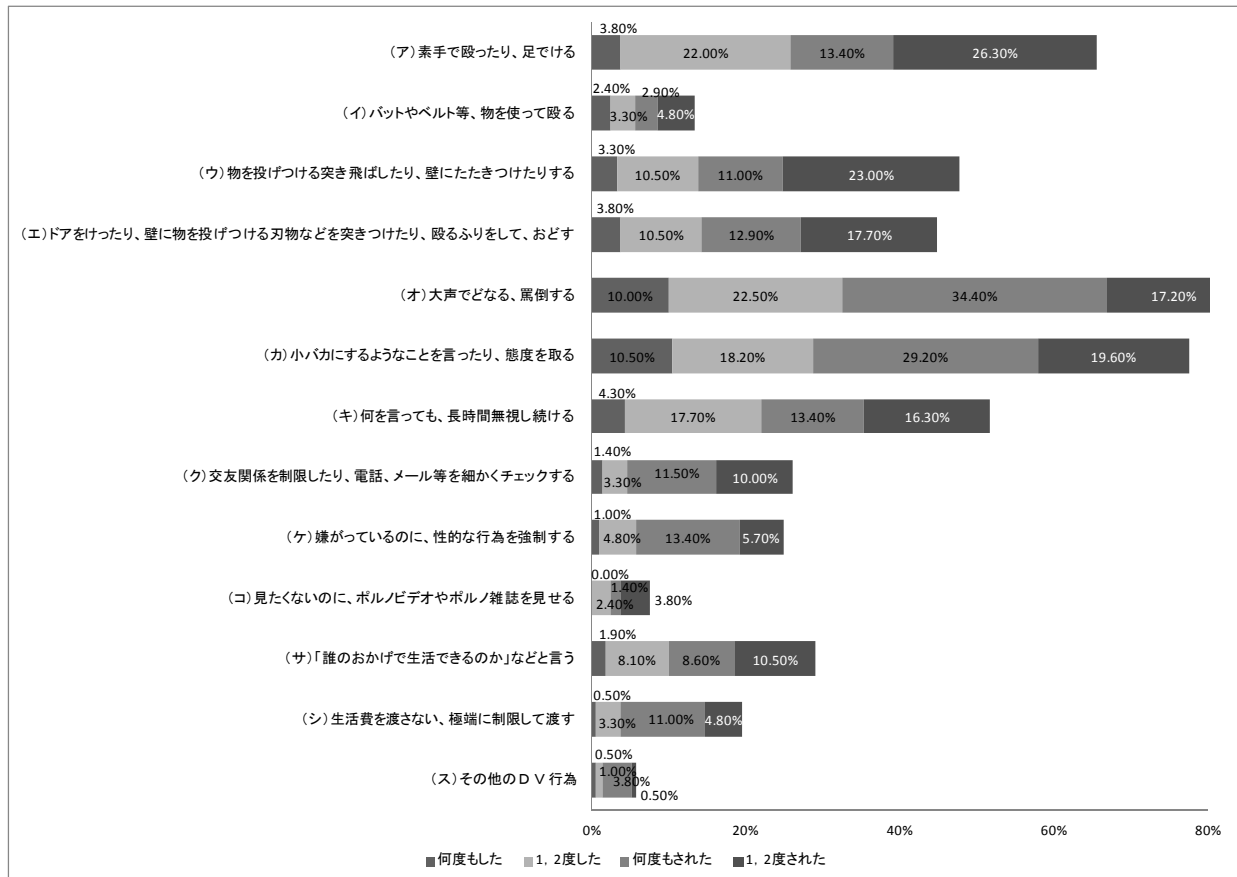
(シ) 生活費を渡さない、極端に制限して渡す

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	1	0.5%
2	1, 2度した	7	3.3%
3	何度もされた	23	11.0%
4	1, 2度された	10	4.8%
5	どちらでもない・無回答	169	80.9%

(ス) その他のDV行為

	選択肢	回答数	回答比率
1	何度もした	1	0.5%
2	1, 2度した	2	1.0%
3	何度もされた	8	3.8%
4	1, 2度された	1	0.5%
5	どちらでもない・無回答	197	94.3%

図8-1 DV経験内容 (26年度調査)



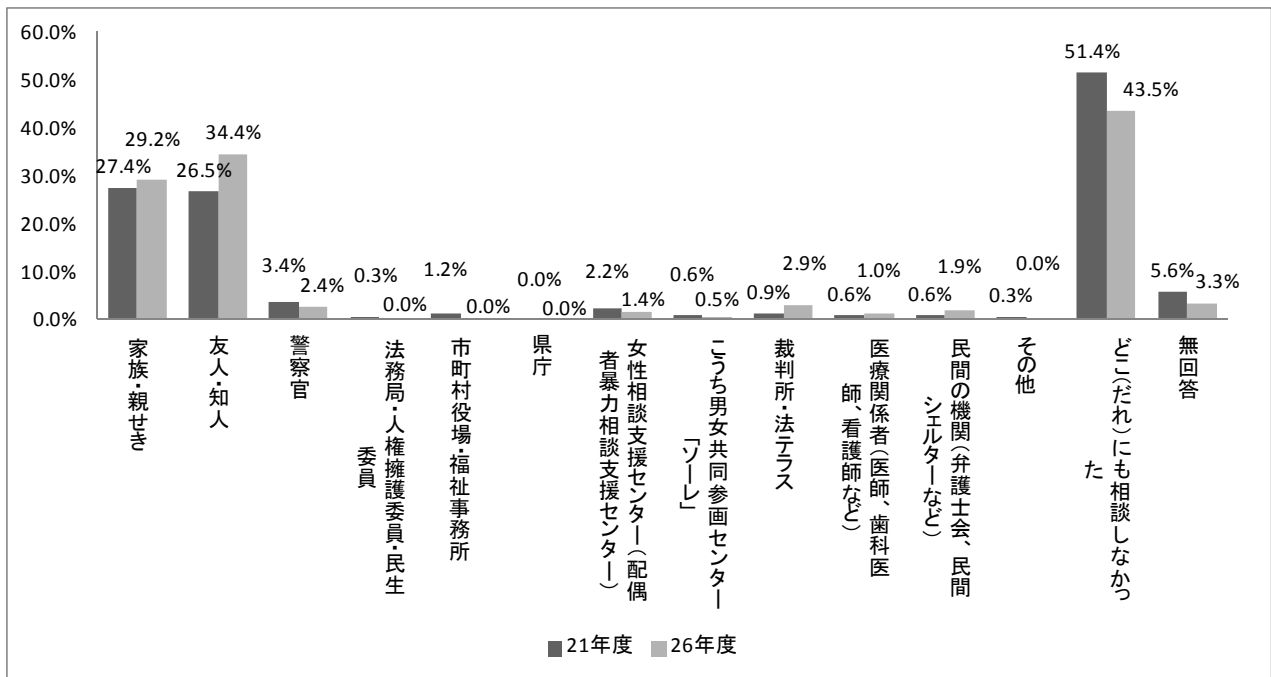
問8 〈副問1〉

あなたは、問8でしたこと、されたことについて誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
 (あてはまるものすべてを選択)

(回答者数 209 人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	家族・親せき	61	29.2%	27.4%
2	友人・知人	72	34.4%	26.5%
3	警察官	5	2.4%	3.4%
4	法務局・人権擁護委員・民生委員	0	0.0%	0.3%
5	市町村役場・福祉事務所	0	0.0%	1.2%
6	県庁	0	0.0%	0.0%
7	女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）	3	1.4%	2.2%
8	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	1	0.5%	0.6%
9	裁判所・法テラス	6	2.9%	0.9%
10	医療関係者（医師、歯科医師、看護師など）	2	1.0%	0.6%
11	民間の機関（弁護士会、民間シェルターなど）	4	1.9%	0.6%
12	その他	0	0.0%	0.3%
13	どこ（だれ）にも相談しなかった	91	43.5%	51.4%
14	無回答	7	3.3%	5.6%

図8-2 DV相談相手 年度別比較



★問8〈副問1〉で「13. どこ（だれ）にも相談しなかった」を選んだ方のみ回答。

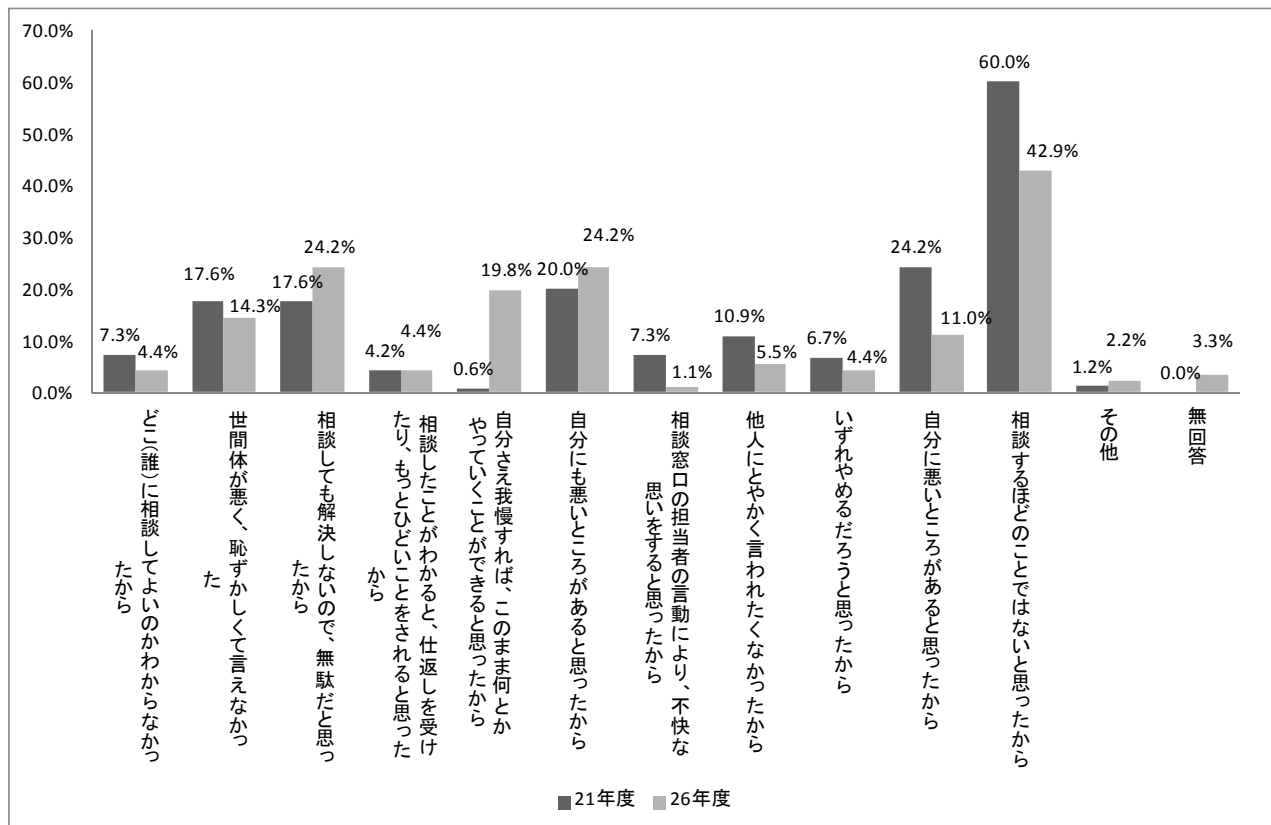
問8〈副問2〉 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。

（あてはまるものすべてを選択）

（回答者数 91人）

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから	4	4.4%	7.3%
2	世間体が悪く、恥ずかしくて言えなかった	13	14.3%	17.6%
3	相談しても解決しないので、無駄だと思ったから	22	24.2%	17.6%
4	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどいことをされると思ったから	4	4.4%	4.2%
5	自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから	18	19.8%	0.6%
6	自分にも悪いところがあると思ったから	22	24.2%	20.0%
7	相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすることを思ったから	1	1.1%	7.3%
8	他人にとやかく言われなくなかったから	5	5.5%	10.9%
9	いずれやめるだろうと思ったから	4	4.4%	6.7%
10	自分に悪いところがあると思ったから	10	11.0%	24.2%
11	相談するほどのことではないと思ったから	39	42.9%	60.0%
12	その他	2	2.2%	1.2%
13	無回答	3	3.3%	0.0%

図8-3 相談を行わなかった理由 年度別比較



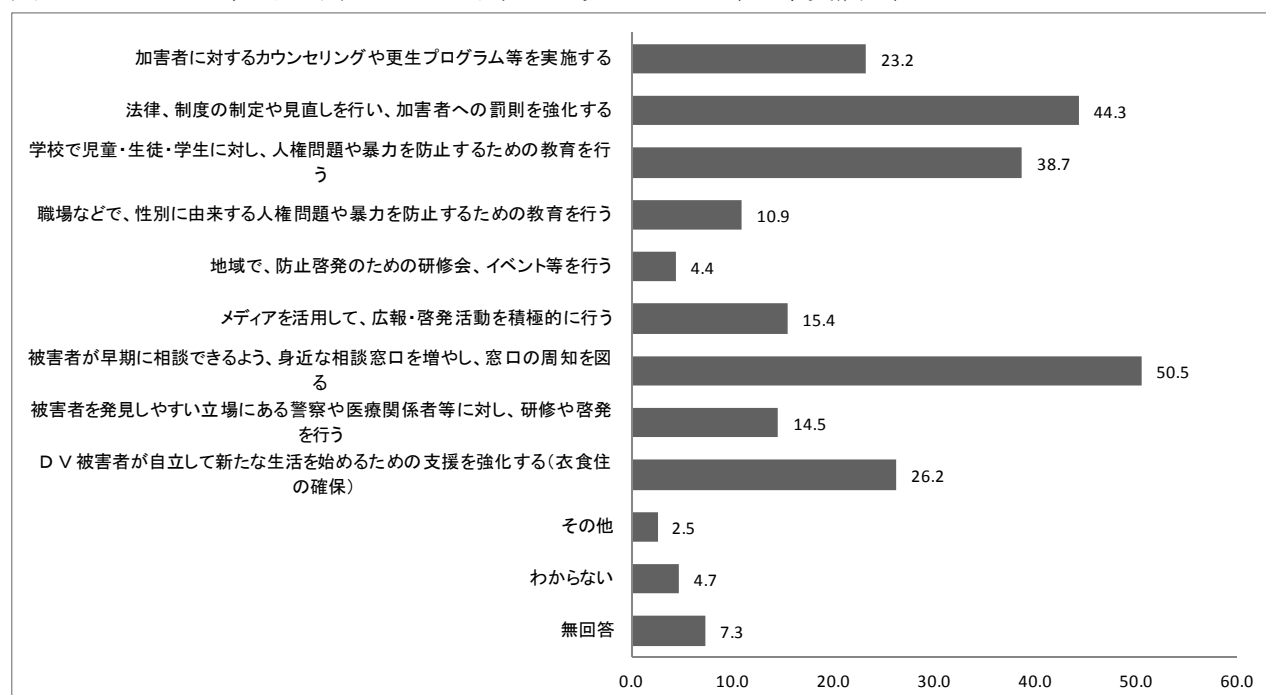
新

問9 デートDV（交際相手からの暴力）、DV（配偶者等からの暴力）、性暴力などの行為が社会問題になっていますが、このような行為を予防し、なくすためには、どうすればよいと思いますか。3つまで選択。

(回答者数 1,015人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	加害者に対するカウンセリングや更生プログラム等を実施する	235	23.2%
2	法律、制度の制定や見直しを行い、加害者への罰則を強化する	450	44.3%
3	学校で児童・生徒・学生に対し、人権問題や暴力を防止するための教育を行う	393	38.7%
4	職場などで、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う	111	10.9%
5	地域で、防止啓発のための研修会、イベント等を行う	45	4.4%
6	メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う	156	15.4%
7	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やし、窓口の周知を図る	513	50.5%
8	被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者等に対し、研修や啓発を行う	147	14.5%
9	DV被害者が自立して新たな生活を始めるための支援を強化する（衣食住の確保）	266	26.2%
10	その他	25	2.5%
11	わからない	48	4.7%
12	無回答	74	7.3%

図9-1 DV等を無くすために必要だと考えること（26年度調査）



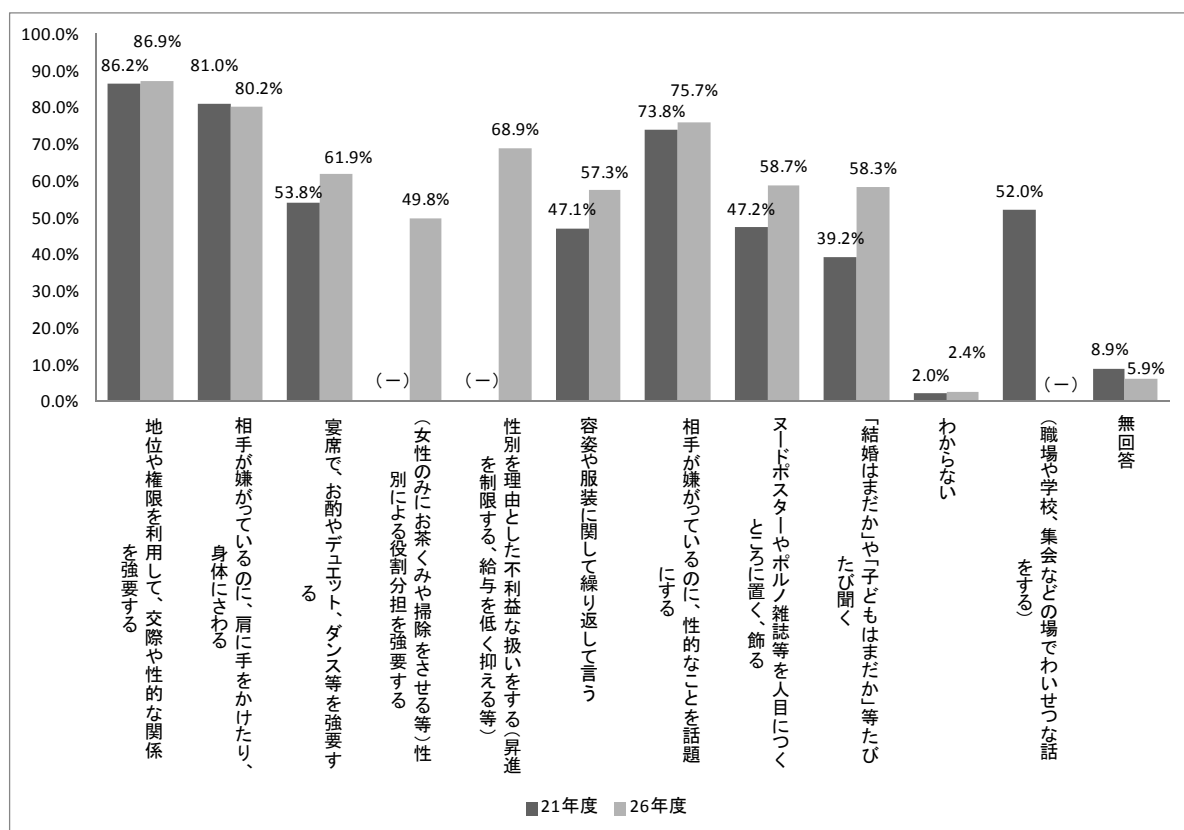
問10 次にあげることのうち、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。あてはまるものすべてを選択

(回答者数 1,015人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	882	86.9%	86.2%
2	相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる	814	80.2%	81.0%
3	宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	628	61.9%	53.8%
4	(女性のみにお茶くみや掃除をさせる等) 性別による役割分担を強要する	505	49.8%	—
5	性別を理由とした不利益な扱いをする(昇進を制限する、給与を低く抑える等)	699	68.9%	—
6	容姿や服装に関して繰り返して言う	582	57.3%	47.1%
7	相手が嫌がっているのに、性的なことを話題にする	768	75.7%	73.8%
8	ヌードポスターやポルノ雑誌等を人目につくところに置く、飾る	596	58.7%	47.2%
9	「結婚はまだか」や「子どもはまだか」等たびたび聞く	592	58.3%	39.2%
10	わからない	24	2.4%	2.0%
11	無回答	60	5.9%	8.9%

※21年度の選択肢には、上記以外に「職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする」(52.0%)あり。回答比率の「—」は、その選択肢が無いことを意味する。

図10-1 セクハラ行為認識 年度別比較



5. 男女共同参画の推進について

問11 あなたは、次にあげる言葉について、知っていますか。該当する内容を1つだけ選択。
(回答者数：(ア)～(ス)まですべて1,015人)

(ア) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	238	23.4%	15.4%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	271	26.7%	31.6%
3	知らない	409	40.3%	43.7%
4	無回答	97	9.6%	9.3%

(イ) DV（ドメスティック・バイオレンス）

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	881	86.8%	80.2%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	69	6.8%	8.5%
3	知らない	26	2.6%	6.8%
4	無回答	39	3.8%	4.5%

(ウ) セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	902	88.9%	87.2%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	62	6.1%	6.7%
3	知らない	13	1.3%	2.4%
4	無回答	38	3.7%	3.7%

(エ) こうち男女共同参画センター「ソーレ」

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	350	34.5%	27.0%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	414	40.8%	45.7%
3	知らない	206	20.3%	22.8%
4	無回答	45	4.4%	4.6%

(オ) クオータ制

	選択肢	H26 調査	
		回答数	回答比率
1	内容を知っている	34	3.3%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	155	15.3%
3	知らない	771	76.0%
4	無回答	55	5.4%

(カ) 女性相談支援センター

	選択肢	H26 調査		H21 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	内容を知っている	172	16.9%	17.1%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	473	46.6%	42.4%
3	知らない	320	31.5%	35.6%
4	無回答	50	4.9%	5.0%

(キ) 高知家の女性しごと応援室

	選択肢	H26 調査	
		回答数	回答比率
1	内容を知っている	37	3.6%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	213	21.0%
3	知らない	719	70.8%
4	無回答	46	4.5%

(ク) 女子差別撤廃条約

	選択肢	H26 調査		H21 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	内容を知っている	101	10.0%	8.9%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	255	25.1%	31.3%
3	知らない	608	59.9%	54.7%
4	無回答	51	5.0%	5.1%

(ケ) 男女雇用機会均等法

	選択肢	H26 調査		H21 調査 回答比率
		回答数	回答比率	
1	内容を知っている	519	51.1%	47.4%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	315	31.0%	35.8%
3	知らない	135	13.3%	11.9%
4	無回答	46	4.5%	4.9%

(コ) 育児・介護休業法（※H21 調査時は同制度）

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	451	44.4%	53.0%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	392	38.6%	34.9%
3	知らない	128	12.6%	8.0%
4	無回答	44	4.3%	4.1%

(サ) 次世代育成支援対策推進法

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	58	5.7%	5.1%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	270	26.6%	30.2%
3	知らない	634	62.5%	59.2%
4	無回答	53	5.2%	5.5%

(シ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（いわゆるDV防止法）

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	287	28.3%	33.6%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	508	50.0%	46.9%
3	知らない	178	17.5%	14.9%
4	無回答	42	4.1%	4.6%

(ス) 高知県男女共同参画社会づくり条例

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	内容を知っている	86	8.5%	5.5%
2	聞いたことはあるが内容は知らない	378	37.2%	36.3%
3	知らない	502	49.5%	53.3%
4	無回答	49	4.8%	4.9%

図11-1 男女共同参画関連用語等の認知度（26年度）

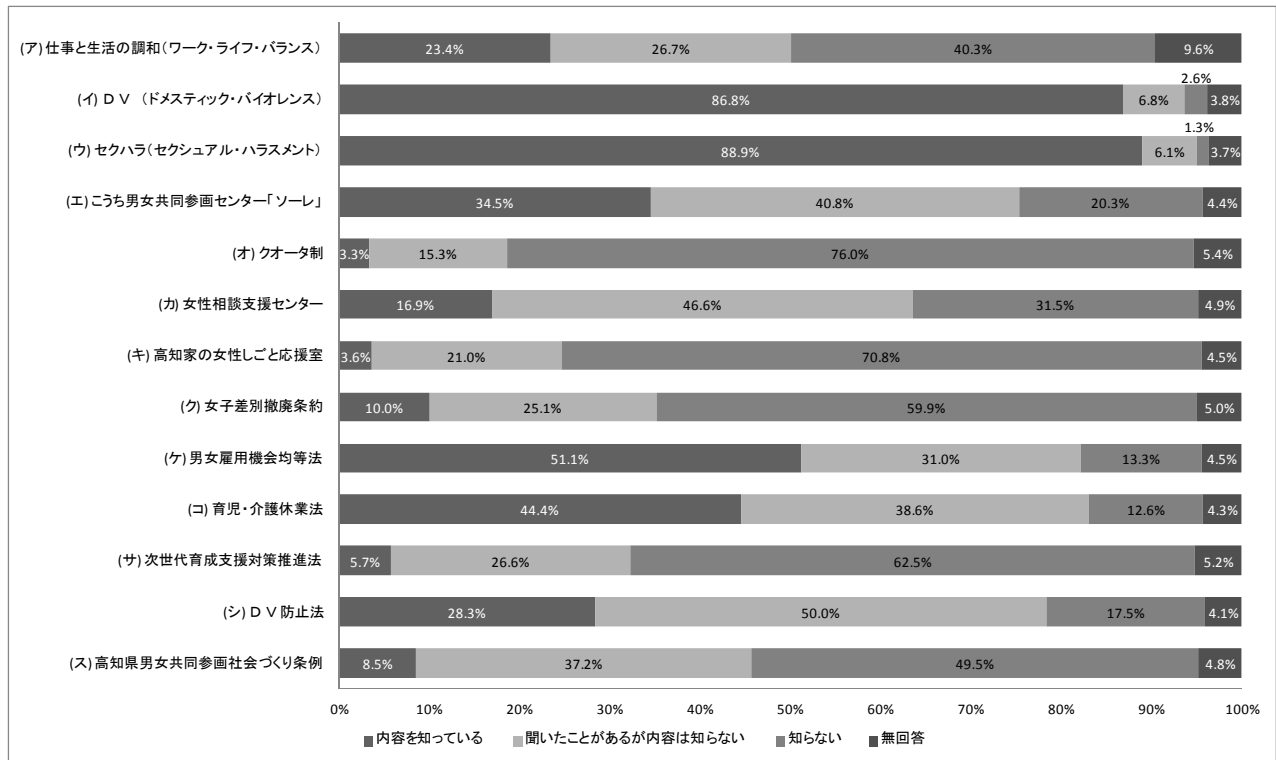
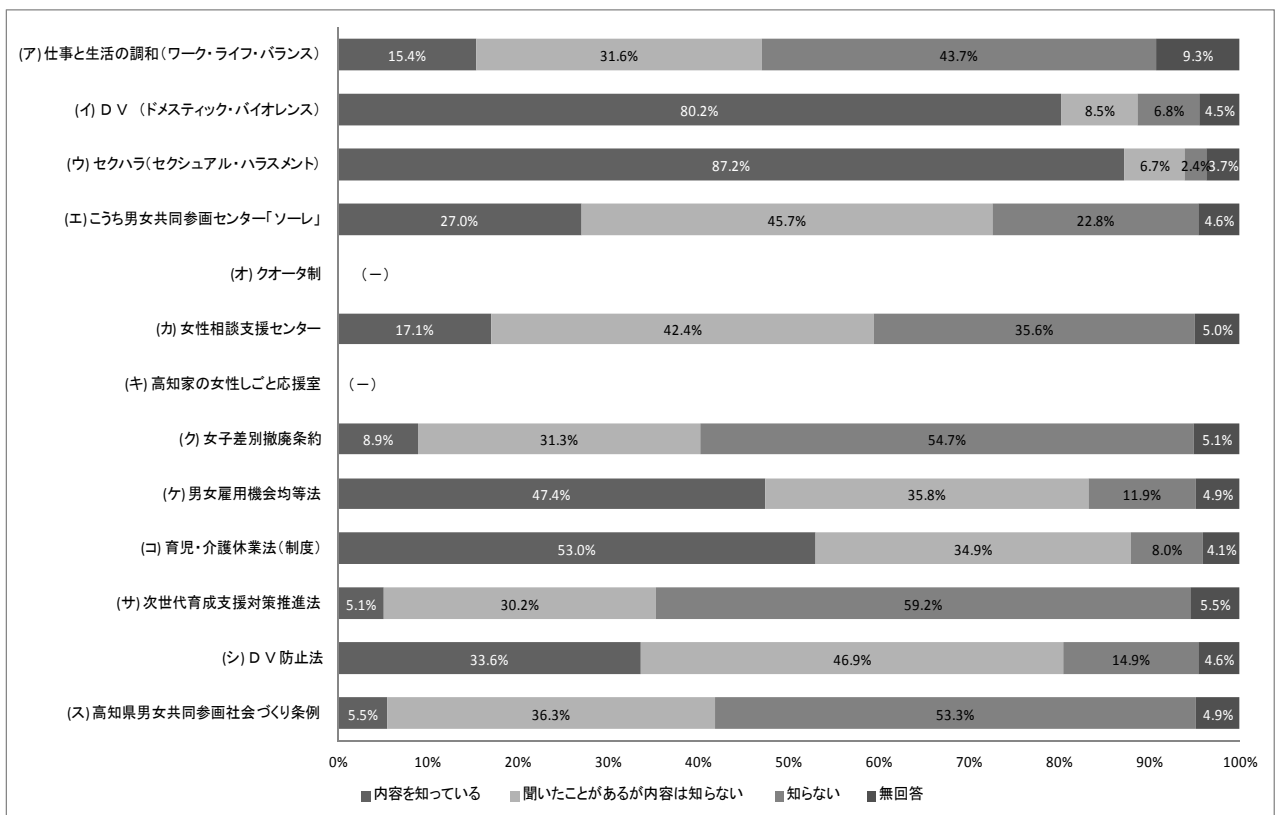


図11-2 男女共同参画関連用語等の認知度（21年度）



※グラフ中の「-」は、その質問項目が無いことを示す。

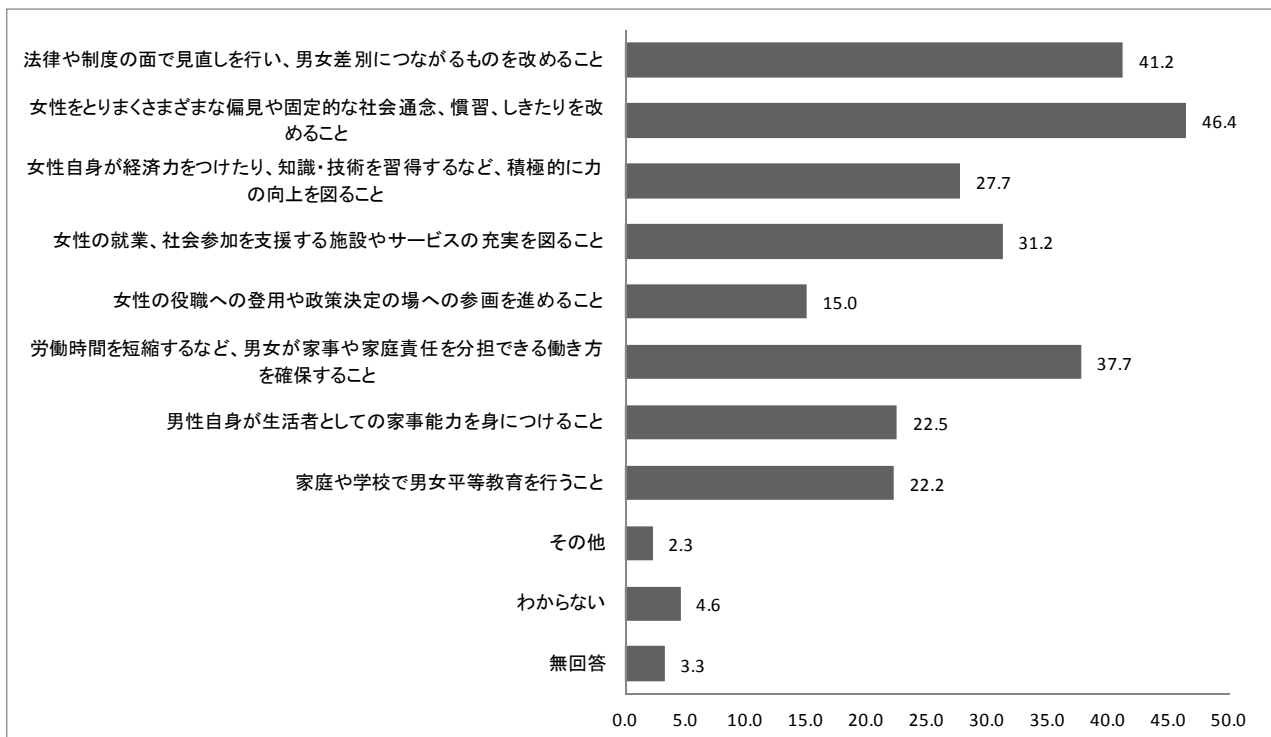
新

問12 あなたは、今まで以上に男女共同参画社会を実現するためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つまで選択。

(回答者数 1,015人)

	選択肢	回答数	回答比率
1	法律や制度の面で見直しを行い、男女差別につながるものを改めること	418	41.2%
2	女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること	471	46.4%
3	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	281	27.7%
4	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	317	31.2%
5	女性の役職への登用や政策決定の場への参画を進めること	152	15.0%
6	労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること	383	37.7%
7	男性自身が生活者としての家事能力を身につけること	228	22.5%
8	家庭や学校で男女平等教育を行うこと	225	22.2%
9	その他	23	2.3%
10	わからない	47	4.6%
11	無回答	33	3.3%

問12-1 男女共同参画社会実現に向けて力を入れるべきこと



問13 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切ですが、あなたは、何ができますか。あてはまるものすべてを選択

(回答者数 1,015人)

	選択肢	H26 調査		H21 調査
		回答数	回答比率	回答比率
1	家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする	695	68.5%	69.8%
2	「男らしく、女らしく」から「その子らしく」子育てをする	444	43.7%	50.4%
3	学校では、PTAや保護者会で男女平等について取り組む	167	16.5%	13.4%
4	職場で男女平等意識を浸透させる	368	36.3%	27.6%
5	地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む	314	30.9%	26.1%
6	男女共同参画について学ぶ	306	30.1%	22.2%
7	こうち男女共同参画センター「ソーレ」などの事業に参加して理解を深める	126	12.4%	12.0%
8	その他	31	3.1%	0.9%
9	無回答	59	5.8%	8.1%

図13-1 男女共同参画のために出来ること

